学校番号	１１５

平成３１年度　英語科

教科	英語	科目	英語会話	単位数	２単位	年	３年
類型等	文型（選択）						
使用教科書	Sailing English Conversation（啓林館）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、日本人教師だけではなく必要に応じて外国人の先生とのＴＴで行います。英語能力の中でも特に「スピーキング」と「リスニング」に焦点をあてますが、４技能全体を伸ばすことを目指します。授業では、英語でのプレゼンテーション、ディスカッション、ディクテーションなどの様々な言語活動を行います。間違うことを恐れずに、積極的に授業に参加することが求められます。

また、定期的に発音のテストやインタビューテストを行いますので、授業で学んだ事の復習は必ず行ってください。英語で覚えた事を実際に使うためには、繰り返し練習する事が必要不可欠です。理解して終わりでは力がつきません。家庭学習においては暗記と同時に、音読を通した表現の練習を必ず行ってください。この２つをしっかりと行うことで、真の英語力が身につくことでしょう。

２　学習の到達目標

【第３学年】履修科目：「英語会話」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聴いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。	コミュ英Ⅲ 音読 英語会話 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や自分の考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	コミュ英Ⅲ 定期考査 小テスト 英語発展演習 定期考査 小テスト 英語読解演習 定期考査 小テスト 英語会話 ﾍﾟｱﾜｰｸ	・物事に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・自然な速さで話されるスピーチや会話（３分）を聞いて要点を把握し、内容を理解することができる。	コミュ英Ⅲ リスニングテスト 発音アクセントの確認 ﾍﾟｱﾜｰｸ 英語読解演習 発音アクセントの確認 英語会話 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ﾍﾟｱﾜｰｸ ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどをとらえることができる。 ・評論やエッセイなどを一定時間内に読み、筆者の意図や考えを的確に読み取ることができる。	コミュ英Ⅲ 速読テスト 定期考査 英語読解演習 定期考査 英語発展演習 定期考査 英語会話 ﾍﾟｱﾜｰｸ

３　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN－DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN－DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある外国の文化、日本の文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
UNIT１ UNIT２ １学期	・English Around the World ・ People Around us ・What Day is Convenient for you? ・How Was Last Sunday? ・Could I have an Extra Blanket?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		さまざまな人の自己紹介を聞いて必要な情報を得る。 学校生活について質問したり答えたりする。	自己紹介文の原稿を書き添削を受ける。訂正されている内容を確認し、次に友人を紹介する文の原稿を書き、一人ずつ前に出て発表する。	字数や内容を見て、自分の英語力で文章を書いている。	生徒同士の言語活動を観察し、提出物と発表で評価する。
		「外国語表現の能力」			
		日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりする。	Show and Tell を行う。内容はそれぞれが選んだものとする。単に describe するのではなく、人をひきつける内容の構成を学ぶ。	正しい英語や文法にこだわらず、聴衆をひきつける内容を発表できている。	生徒同士の言語活動を観察し、提出物と発表で評価する。また発音テストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		正確さ（リズム・イントネーション・文法・情報の内容） 適切さ（場面に応じた表現・声の大きさ・速さ）	１グループ４名となり、自分達が紹介したい外国を選び、情報を収集し、プレゼンテーションを行う。	発表の際に使用する material の内容や、これまでに学習した発表の仕方のポイントを抑えている。	主に提出物と発表で評価する。音読の課題チェックや発音テスト、インタビューテストを行う。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その文化も理解する。	１グループ４名となり、自分達が紹介したい外国を選び、情報を収集し、プレゼンテーションを行う。	発表の際に使用する material の内容や、これまでに学習した発表の仕方のポイントを抑えている。	主に提出物と発表で評価する。音読の課題チェックや暗唱文の小テストを行う。
UNIT２ ２学期	・How Can I Get There? ・Who's Calling, Please? ・Let's make a commercial	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		道案内ができようになる。	ＮＥＴの指示通りたどり着けることを目標とする。また指示された場所への案内を英語で指示する。１学期より長い文章を話すことを意識する。	ペアの相手が、指示通り案内した場所にたどり着け、sentence を意識して話すことができる。	生徒同士の言語活動を観察し、提出物と発表で評価する。
		「外国語表現の能力」			
		電話での応対をより深める。道案内ができようになる。	電話での対応の dialogue を使用する。与えられた課題に対応して、その場で文章を作り、英語で会話できるようになる。即興で英語を話すことを、学ぶ。	発表時に、正確な応対ができており、間延びすることなく伝えることができる。	生徒同士の言語活動を観察し、提出物と発表で評価する。また、インタビューテストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		グループで、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	グループで商品をそれぞれ選び、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	グループ独自の人をひきつけるコマーシャルを作成し、堂々と発表できる。	生徒同士の言語活動を観察し、発表を教師と生徒で評価する。また発音テストを行う。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		グループで、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	グループで商品をそれぞれ選び、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	グループで、発表する商品についてしっかりと調べ、そのことに基づいて独自にコマーシャルを作成することができる。	生徒同士の言語活動を観察し、発表を教師と生徒で評価する

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
ﾃｷｽﾄは不使用	・Discussion／Debate	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自らの意見を積極的に伝え、相手の意見に応答することができる。	トピックを設定し、自らの意見を構築し、グループで話し合う。	ディスカッション・ディベートに積極的に参加し、自らの意見を伝えるともに、グループの意見をしっかりときいている。	生徒同士の言語活動を観察し、ディスカッション内容を生徒と教師で評価する。
		「外国語表現の能力」			
		これまでに学んだ表現を用いて、文章を書いたり、口頭で説明したりすることができる。	ディスカッションやディベートにおいて、これまでに学んだ表現を用いて、グループで話し合う。	これまでに学んだ表現を用いて、ワークシートに正しく文章を書き、それを口頭で説明できる。	生徒同士の言語活動を観察し、ディスカッション内容を生徒と教師で評価する。また発音テストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		グループの主張・意見を聞き、それに反論・疑問提議することができる。	グループや相手の主張・意見を聞き、それに応答・反論・質問する。ワークシートを活用し、意見をまとめる。	ワークシートに意見をまとめ、グループの主張・意見を聞き、それに応答・反論・質問することができる。	生徒同士の言語活動を観察し、ディスカッション内容を生徒と教師で評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		自らの意見・主張を裏付ける理由・根拠を調べ、発表することができる。	グループでのディスカッションやディベートを通して言語やその運用についての知識を身につける。	自らの意見・主張を裏付ける理由・根拠を調べ、論理的に発表できる。	生徒同士の言語活動を観察し、ディスカッション内容を生徒と教師で評価する。